

# 伝統構法木造建物震動台実験報告会

## — 伝統構法木造建物の耐震性を検証する —

伝統構法木造建築物は、社寺建築物のみならず、現在も多くの都市、まち、村に数多く残っており、現在、伝統構法の良さが再認識され、保存・修復・再生への取り組みがなされています。

伝統構法木造建築物については、土台を設けない柱脚の滑りや床、屋根構面の変形など構造力学的に未解明な部分がまだ多く残されています。このような状況から伝統構法を構造力学的に明らかにするために、文部科学省「大都市大震災軽減化特別プロジェクト」平成18年度の研究の一環として今年1月から2月にかけて、防災科学技術研究所 E-ディフェンスにおいて伝統構法の木造建物の実大震動台実験を実施いたしました。



震動台実験やシミュレーション解析から、伝統構法の地震応答性状や耐震性能について多くの成果を得ることができました。

つきましては、震動台実験でのビデオ映像とともに伝統構法の地震時の揺れや耐震性について解説し、今後の伝統構法木造建築物の設計や耐震改修に生かすために、下記のように報告会を開催いたします。伝統構法をはじめ木造建物に関心のある皆様方のご参加をお待ちしています。

伝統構法木造建物震動台実験研究会 代表  
京都大学防災研究所・教授 鈴木祥之

### 記

日時：平成19年7月25日（水）受付：12時30分 報告会：午後1時～5時

場所：キャンパスプラザ京都 5階 第1講義室

京都市下京区西洞院通塩小路下ル 電話 075-353-9100  
(JR 京都駅前、京都中央郵便局・駅ビル駐車場の西側)

主催：京都大学防災研究所

独立行政法人防災科学技術研究所

定員：250名（申込の先着順）

参加費：無料

資料：テキスト（ビデオ映像付）を実費で頒布予定。

申込：氏名・連絡先(住所、メールあるいはFAX番号)

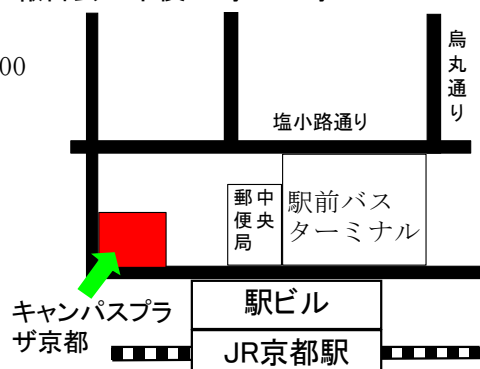
をご記入の上、メール (yano@zeisei.dpri.kyoto-u.ac.jp) あるいは FAX (0774-38-4055) にてお申込み下さい。

問合せ：〒611-0011 宇治市五ヶ庄

京都大学防災研究所 社会防災研究部門・都市空間安全制御分野

矢野佐永子 E-mail : yano@zeisei.dpri.kyoto-u.ac.jp

Tel: 0774-38-4046 Fax: 0774-38-4055



本実験研究は、京都大学防災研究所と(独)防災科学技術研究所の他に、多くの機関、組合等団体、工務店、設計事務所などの協力のもとに伝統構法木造建物震動台実験研究会を設けて実施しました。

大学等研究機関：京都大学、福山大学、広島国際大学、金沢工業大学、豊田工業高等専門学校、広島大学、横浜国立大学、関西大学、福井大学、金沢大学、奈良女子大学、鳥取環境大学

組合等諸団体：特定非営利活動法人日本伝統建築技術保存会、TS ウッドハウス協同組合、京都左官協同組合、京都府瓦工事協同組合、淡路瓦工業組合、京都府建築工業協同組合、京北町森林組合、木考塾、京都建築構造研究会、徳島県立農林水産総合技術支援センター、徳島の設計事務所グループ、西澤工務店、播磨社寺工務店、丸浩工業、徳舂瓦店、国元商会、野村重機、東京測器研究所